

事例

地域福祉マップ作成

青香福祉会（徳島県） 〒771-0134 徳島県徳島市川内町平石住吉183番地 TEL 088-665-5511

活動の概要

地域に存在する社会資源が、地域住民に有効に活用されること、また有機的に連携することを目的に、徳島市川内町、応神町（当在宅支援センター担当地区）の二町に該存する福祉、介護及び医療関係諸機関、施設、団体等の所在地、連絡先をできるだけ見やすく図形化した「地域福祉マップ」を微力ではあるが当法人独自の判断により作成しました。

これを端緒とし、地域福祉推進の一翼を担えれば幸いと考えます。

法人の概要

昭和55年法人設立、昭和56年特別養護老人ホーム開設、平成4年在宅介護支援センター等在宅サービス開始と共に地域福祉推進の中核となるよう努めてきました。

法人が所在する徳島市川内町は徳島県の北部に位置し、大河四国三郎吉野川の河口にあります。その肥沃で広大な平地を利用してサツマイモ、レンコン等の栽培を主とする農業の盛んな土地です。それでいて市の中心地に近く、その便宜性からか新興住宅が増加の傾向にあると聞きます。

このような地理的条件のせいか、地域住民の生活を支える社会資源が豊富に存在しますが、意外にもそのことが認知されていないか、若しくは活用されていません。

- 経営施設数…5
- 法人全体の年間事業収入…350,490千円
- 主な経営施設
 - 特別養護老人ホーム青香園（短期入所）
昭和56（61）年設立 定員50（5）名
 - 青香福祉会デイサービスセンター
平成4年設立 定員35名
 - 青香福祉会ホームヘルプ事業所
平成2年設立

青香福祉会指定居宅介護支援事業所
平成11年設立

実施施設の概要

- 施設名…青香福祉会在宅介護支援センター
- 施設種別…在宅介護支援センター
定員1名

施設の運営方針

地域における要支援・要介護高齢者とその家族等の基本的人権及びプライバシーを尊重し、公的機関また保健・医療・福祉サービス機関との連携を図り、高齢者支援を行う。

活動の内容

- 活動対象者…地域高齢者
- 活動の頻度…1～2ヶ月に1度の訪問
1回20～40分
- 年間延利用者数…435名
- 活動開始年…平成4年

活動開始の背景（取り組みの経緯）

在宅介護支援センターにて、基本業務を遂行

する中で以前より強く感じていたことがあります。それは、在宅介護支援センターが地域住民に周知されていないということです。支援センターの地域に対する必要性を通常の活動以外で何かアピールできる方法はないかと考えた一つの手段が、「地域福祉マップ」の作成でした。

このマップは、独居老人をはじめ、地区民生委員等に配布し、公民館等に備え、地域住民の生活にて活用されることを大きな目的の一つとし、このマップと同様に在宅介護支援センターも活用していただければと考えています。

■人材・資金面等での工夫、苦慮

介護保険制度導入後、在宅介護支援センターに寄せられる相談の8割は介護保険に関することです。同種の相談とはいえ、一例毎に異なる問題を抱えています。一人の職員で全てのケースに対応するのは難問です。また、市の委託費削減にて、これ以上の増員も難しいのが現実です。当法人は併設に居宅介護支援事業所があり、介護保険に関する相談は介護支援専門員が迅速に対応してくれています。しかし、保険適用外である高齢者、また、サービス利用の拒否等による孤立化した高齢者等の支援活動も重要であると考え、全ての高齢者の方が安心した生活を送ることのできる一つの支援活動として「地域福祉マップ」の配布を行っています。

■利用者の声、地域の反応

地域福祉マップの試験的な配布が行われてから3か月にみたないため、目に見える成果は感じとることはできていないが、一部の地域住民の方から、「地域福祉の向上を目指した地域福祉マップの作成は素晴らしい」等の励ましのお声をいただきました。

今後の活動において、当センターが心掛けな

ければならないことは、地域福祉マップを配布して終了ではなく、この福祉マップを修正・補充しながら在宅介護支援センターの活動を一人でも多くの地域の方に周知していただき、地域福祉相談の拠点となるよう努めなければならないと考えます。

■活動の成果、地域の影響、今後の課題

独居老人をはじめ、障害者等への福祉マップの活用・周知については、これからの在宅介護支援センターの活動を左右すると考えます。この「地域福祉マップ」が生きたマップとなるように、また、地域に必要とされる在宅介護支援センターであるように、ソーシャルワーカーは、しっかりとした目的意識を持ち活動することが重要です。